

5 / 6 号機 サプレッションプール水サージタンク内包水のサンプリングについて

2019年1月31日

東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

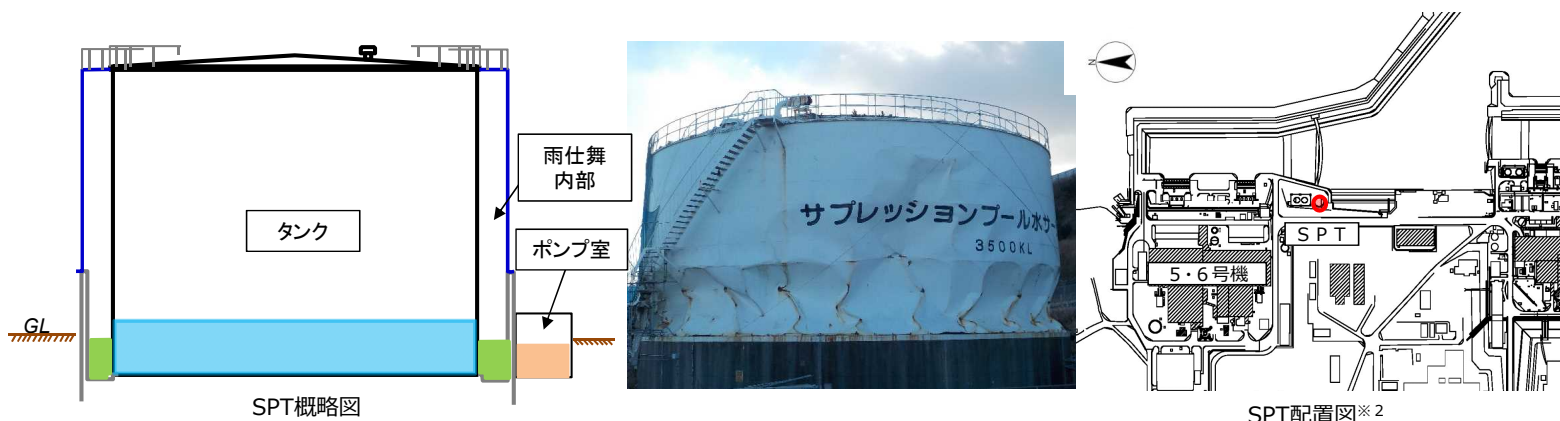
無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

1. 経緯

- 5 / 6 号機のサプレッションプール水サージタンク(以下, S P T という) には, 震災前のプラント保有水※¹が貯留されている。
- S P T は 2 重構造で, タンク内部にプラント保有水に海水が混入した水約500m³, 雨仕舞内部に海水・雨水が混入した水約200m³, タンク横に附属されているポンプ室は海水・雨水が混入した水約60m³が貯留されている。
- 今後, 水処理を計画的に行うため, サンプリング水を採取し, 分析を行った。

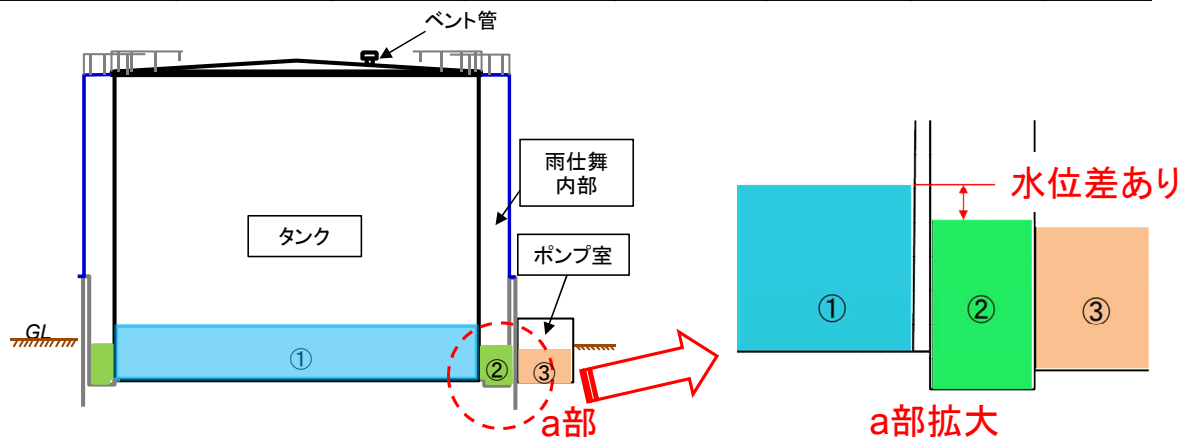
※ 1 : プラント保有水 : プラントで使用した水を一度浄化 (液体廃棄物処理系で浄化処理を行い) し, 再利用 (プラントで使用する補給水として再利用) するための水や廃棄物処理系で保管しているドレン水等であり, 震災以降炉注水等で発生する高濃度の建屋滞留水等とは異なる。



※ 2 : 5 / 6 号機海側ヤードにおけるプラント保有水を内包するタンクは S P T のみ。

2. SPTサンプリング結果

採取場所	採取日時	全β※ ¹ (Bq/L)	Co-60※ ² (Bq/L)	Cs-134※ ¹ (Bq/L)	Cs-137※ ¹ (Bq/L)	H-3※ ³ (Bq/L)	Cl-※ ⁴ (ppm)
① タンク	2019/1/10	1.5E+02	4.9E+01	<7.6E+00	6.2E+01	2.9E+03	260
② 雨仕舞内部		3.4E+01	<1.1E+01	<7.6E+00	3.3E+01	1.1E+03	140
③ ポンプ室		1.5E+01	<9.1E+00	<6.0E+00	1.8E+01	1.5E+03	170



- ※ 1 : 全β, Cs-134,137侵入箇所 : タンクはベント管, 雨仕舞内部は津波によって発生した雨仕舞開口部, ポンプ室は津波により破損した入口扉よりフォールアウト由来の放射性物質が侵入。
 ※ 2 : Co-60がタンク内部に存在する理由 : プラント保有水由来によるもの。
 ※ 3 : トリチウムが存在する理由 : タンク内は, プラント保有水及びフォールアウト由来によるもの。雨仕舞内部とポンプ室は, ポンプ室内に設置されたサンプピットに保管されたプラント保有水及びフォールアウト由来のもの。
 ※ 4 : 塩分侵入箇所 : タンクはタンクベント管, 雨仕舞内部は津波により破損した雨仕舞開口部, ポンプ室は津波により破損した入口扉よりそれぞれ津波による海水侵入。

- タンク・雨仕舞内部・ポンプ室の水については, サンプリング結果を基に, 移送先・処理を今後検討する。
 なお, ①タンクと②雨仕舞内部に水位差があることから, タンクからの漏えいはないと考えている。